

# 国際原子力における知識管理プロジェクト関連拠出金

令和2年度概算要求額 **0.3億円（0.4億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 原子力に関する知識・技術の継承を用途とした国際原子力機関（IAEA）への拠出により、IAEAにおいて各加盟国が持つ原子力発電に関する知識を蓄積し、当該知識の有効活用に必要なシステムを構築する等の事業を支援します。
- 我が国から専門家を派遣し、本事業の適切な管理、原子力の知識管理に関するセミナーやワークショップの開催、本事業に関連する出版物の作成等を行うとともに、本事業の成果を我が国の原子力発電に関する技術や知識の継承にも活用します。

### 成果目標

- 本事業を通じて、各国が有する原子力に関する知識をIAEAに蓄積するとともに、事業の成果を我が国の原子力発電に関する技術や知識の継承に活用します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

- 国際原子力機関では、原子力の安全な利用の促進という観点から、過去の原子力発電の利用を通じて得られた科学的・技術的知見を蓄積し、今後の原子力発電利用に活かすためのプロジェクトを実施しています（「原子力知識管理プロジェクト」）。
- 我が国としては、東京電力福島第一原子力発電所事故の経験も含む、これまで我が国において培われてきた知見をIAEAに提供することで、我が国の技術や知識が体系的に共有・継承されていくよう、IAEAによる取組を支援いたします。

